



Fire-Fighting Teams
of
HIDAKA CITY

まち火消し

編集発行日高市消防団 平成10年1月1日 第2号

「安全」



日高市消防団長
山岸 寿 男

本年3月で自治体消防が発足し、50周年の記念する年でもあります。

市消防団は、昭和30年2月に高麗村と高麗川村が合併し、町制施行日高町となり、同年3月に日高町消防団を編成、翌年9月に高萩村が編入合併しました。その歴史には、諸先輩方が築いた伝統を受け継ぎ、現在の消防団があります。50年の節目が歴史の新しいスタートとすると、消防に何が最も大切なことか。

それは、諸先輩方が築いた消防の原点を再認識することです。

21世紀を間近にひかえ、各種災害も複雑多様化の傾向にあります。消防団に課せられた使命達成のため、更に精進をしていきます。

火への関心



埼玉西部広域消防本部
消防長
石田 津義男

過去最大のエルニーニョ現象が観測され、その影響で暖冬が予測されています。

暖冬といっても冬は寒いのが相場です。今冬は、秋からの雨量が少なく、空気や木材など非常に乾燥しています。

湿度と火災の発生との因果関係はご承知のところですが、例えば湿度百パーセントといっても空気中の水分は気温によって異なり、冬の気温摂氏0度のときは夏の30度のときの約10分の1なのです。従って冬は木材などの湿り度合いが小さくなり火が付きやすく火災となる危険が大きくなります。一瞬のうちに財産を奪ってしまふ火災……元は小さな火からです。「つけた火は、ちゃんと消すまで あなたの火」を励行することが肝要です。

謹賀新年

今年もよろしくお願ひ致します

平成十年元旦

日高市消防団員一同



平成9年8月3日(日) 富士登山駅伝競走大会 (静岡県にて)



活動ひろば



第52回国民体育大会

(大阪・なみはや国体)

H9年10月25日～10月29日

第1分団 村本裕一

昨年の4月に武甲山(秩父市)で行われた登山競争に参加し、5位に入賞。10位までが団体強化選手に選出されると聞き、初めて山岳競技のことを知りました。

山岳競技とは、3人一組で縦走、踏査、登はんの3競技を行います。

国体の結果は、47都道府県



中総合26位です。出場選手は、

自衛隊・大学生といった強豪揃いで、結果は私なりに満足しています。

国体出場の機会を与えて戴き、とても良い経験を得ると共に、機会があればまた出場したいと思います。

最後に、駒野市長を始め議員方々、消防関係者の方々は、壮行会の席まで催して戴き、励みになると共に口高市消防団の力強い支援を背に競技できましたことに感謝申し上げます。

消防団出初め式

1月5日、日高消防署で、新年最初の公式行事である、消防団出初め式を行いました。

年頭の団長訓示では、消防団員は「市民の生命・財産を守る」という重大、かつ崇高な任務を再認識させられ、市民と一体となった防災活動の重要性を痛感しました。

米賀挨拶と式が続く中、詩吟家勝部先生による詩吟のご



披露があり、その見事な声に団員・関係者一同聞き入る一幕もありました。

その後、会場を北平沢運動公園南側の高麗川河原に移し、消防団・消防署による一斉放水を行い、新春の青空に向かって何本もの水柱が弧を描き、虹をかもし出す鮮やかな光景が見られました。

一斉放水終了後、消防車両が2班に分かれ、市内防火パレードを行い、出初め式の全日程を終了しました。

守る10カ条

6

みんなが助け合って
応急救護を



7

正しい地震情報に
耳をかせ



8

避難は早めに。
まだ大丈夫は危険



9

狭い路地や塀ぎわ、
がけ・川べりなどに
近づかない

10

山崩れ・がけ崩れ・
津波に注意



団本部車更新

団本部車の更新

7月28日、口高消防署で団本部車の配属式及び交付式を行いました。

団本部車は、消防団が出勤する災害には必ず現場に出場し、消防団を指揮するために利用されます。

旧団本部車には、簡単な資器材しか積載されておりませ



んでしたが、更新の車両には、阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、ナタ、大ハンマーなど必要最小限の救助資器材を搭載、車内には書類や備品を入れる棚やテーブルなどが備えられています。車上には、夜間災害時に備え投光器を装備し、同時多発災害により常備の消防車が到着しない場合、消防団単独の災害活動にも対応できます。

団本部車更新にあたり、ご尽力戴きました前野口団長を始め関係者皆様方に感謝を申し上げます。

第5分団防災拠点施設新築

第5分団車庫完成

3月30日、旭ヶ丘の高校通りに第5分団の新車庫が完成し、駒野市長を始め多くのご来賓にご出席を戴き、落成式及び車庫引き渡し式を行いました。

これにより、第5分団は1部・2部が統一され、新車庫から新しい組織で再出発となりました。



新車庫には、自動のホース干し機1基・消防資器材の棚・会議室など、団員にとっては環境の改善、設備の充実などにより大災害が発生した場合、高萩方面の防災拠点として、幅広く活用できるようになりました。

団員同士も1部・2部と分かれていたときと異なり、コミュニケーションや事務連絡などがスムーズに図れ、より活気のある分団となりました。車庫建設にご尽力を戴きました関係者皆様方に感謝を申し上げます。

地震から身を

1

グラッ／ときたら
火の始末



2

窓や戸を開けて
出口の確保を



3

テーブルの下など
に身をふせる



4

外へ逃げるときは
あわてずに



5

火が出たら
初期消火を



宝物そして安らぎ



前消防団長 明野 明

日高市消防団組織の中で、26年間貴重な経験をさせて戴き、また在任中は関係者の皆様方には、多大なるご理解とご尽力を賜り衷心より感謝申し上げます。

我が儘で浅学非才な私でありましたが、お陰様で消防団員として全うできたことで、我が家に「家宝」ができ充実感に暮っております。

消防団員は、平素和気藹々、一朝夕有難の際は署員と一致団結し、命令一つで右へ、左へとなすべきことを着実にやります。このような様は、消防機関としての美徳と思えます。

団員、署員の皆さん、銀や・金や・玉よりも優れる宝「愛」を育み、市民と共に日高市を守り、安らぎのある街づくりの一端を担ってください。

入団にあたって

第6分団 小峰 聡

地元の人達のために働きたいと言う一心から、日高市消防団に入団しました。最初は消防団活動とは何をするのか解りませんでした。

入団早々、初めての火災経験では、サイレンと同時に不安と怖さで胸をドキ鳴らしながら出動し、何をしているのか、解らないまま火災は終わってしまいました。

入団して半年が過ぎても、火災や訓練など先輩方に教えて戴くことが沢山あります。伝統ある日高市消防団の一員として、恥じないよう努力すると共に、消防使命達成のため、更に精進をしていきたいと思えます。



本人は左から3人目です。



賛助会入会の御礼

この度は、(財)埼玉県消防協会の賛助会募集に際しまして、駒野市長を始め、県議・市議会議員の皆様方、市役所の部課長、各事業所、各種団体、日高市消友会員の皆様方、そして各区長さんを通じて市民の皆様方に至るまで、沢山の皆様からご入会をいただき、誠に有り難うございました。

お預かりしました賛助会費は、埼玉県消防協会飯能支部を通じて、県協会へ送金致しました。

今後、市消防団の活動に對しまして、皆様方のご協力とご支援をお願い申し上げます。

消火栓・消火器の取り扱い指導

記憶が薄れてきた、阪神・淡路大震災が発生し、早2年が過ぎようとしております。大きな災害が発生した場合、いたる所で火災が多発し、消防機関が現場に到着できないこともあります。

阪神・淡路大地震の教訓を踏まえ、自分達の地域は自分達の手で「守る」と言うことが再認識されています。

「いざ」と言うときのために、市消防団では、市民を対象とした「消火栓・消火器」取り扱い指導を、次のとおり計画いたしました。

- * 期日 2月～3月の間
- * 場所 各区の区域



- * 対象 各区単位
- * 申し込み 地元の分団長 又は日高消防署
- * 問い合わせ先 日高消防署 消防係 TEL(89) 9111

編集後記

▽今年には自治体消防50周年の記念する年です。これを契機に電気・ガスなどの便利な器具や消防車がなかった不便な時代を再認識して下さい。▽本年6月、Wカップ・フランス大会への出場は、44年目にして悲願の初出場です。是非、今年こそは、災害の少ない明るいニュースが欲しいものです。